|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 観点 | 熟達者 | 上級者 | 中級者 | 初心者 |
| 収集 | (A)図書 | ＜探す＞図書の種類，分類法，データベース | 定義、最新情報、意見など課題の種類にあわせて調べる図書を選ぶ | 課題にあわせて本、事典、雑誌、統計など調べる図書の種類を選ぶ | 分類法を手がかりに探す、データベースを利用する | 図書の配置を手がかりにする  司書の方にたずねる |
| ＜読む＞目次・索引，拾い読み、探し読み、批判的読み | 接続詞やキーワードに注意して著者の主張を読み取り、評価する | 文章の構成を意識して拾い読みをする | 調べたいことをもとにキーワードを考えて探し読みをする | 目次や索引を使って調べたいものを見つける |
| (B)ウェブ | ＜検索＞キーワード，検索機能 | 課題にあわせて複数の検索サービスを組み合わせる | 期間、種類など検索方法を工夫する | キーワードの組み合わせを考える | 思いついたキーワードを入力する |
| ＜判断＞サイトの種類，信頼性，新しさ，出典 | 作成者の意図や立場を踏まえて情報の信頼性を総合的に評価する | 複数のサイトから情報源の信頼性を評価する | 作成者や更新日から信頼性を判断する | 使えそうなサイトを選ぶ |
| (C)アンケート | 質問づくり、質問の種類、選択肢 | 質問の順序や逆転項目など分析方法を想定した工夫がある | 課題や相手にあった質問の種類や選択肢を工夫する | 選択・記述など質問の種類を選ぶ  相手にあわせて質問文を配慮する | 聞いてみたいことを質問文にする |
| (D)インタビュー | ＜準備＞誰に聞くか，事前調査，質問づくり | 答えを予想し追加質問を準備する | 質問の文言や順番を整える | 下調べをして、質問をしぼる | 質問することを考えて書き出す |
| ＜実施＞挨拶・進め方，メモ，質問を重ねる | 返答に応じた追加質問をする | 用意した質問をしてメモをとる | 順に質問し、しっかり話を聞く | 礼儀正しくインタビューをする |
| (E)観察・実験 | ＜計画＞対象、条件、方法 | 課題をもとに観察・実験の計画を組み立てる | 課題に応じて対象や方法を選ぶ | どのような条件が重要なのか理解して実施する | 指示された方法で正しく実施する |
| ＜記録＞写真・映像の撮り方、メモ | 課題にあわせて適切な記録方法を用いる | 写真・映像の記録と言葉の記録を特性を意識して組み合わせる | 対象や構図を意識して撮る。キーワード、箇条書きなどでメモする | 逆光やブレに気をつけて撮る。出来事を言葉で記録する |
| (F)体験 | 五感、視点・観点、企画・実施 | 課題をもとに、どこでどのような体験が必要か企画し、実行する | 課題をもとに、視点や観点をもって体験活動に参加する | 体験した際に思ったことや考えたことを言葉にする | 感覚をはたらかせて体験を味わう |
| (G)表・グラフ | 傾向・変化、判断 | 複数の表やグラフを組み合わせて課題につながる知見を見い出す | 表・グラフから傾向や変化を読み取って説明する | 表・グラフ中から必要な情報・数値を正確に読み取る。 | 何を示している表・グラフかを理解する。 |
| (H)映像 | 感想、キーワード・キーシーン・心情、構成・表現、検索 | 課題をもとに、映像資料を検索・収集し、批判的に分析する | 映像の構成や表現の仕方から伝えたいことを読み取って説明する | 映像からキーワードやキーシーンを見つける、人物の心情をとらえる | 映像をみて感想やわかったことを書く・話す |
| 編集 | (I)集約 | ＜引用・要約＞キーワード、出典 | 引用と要約のちがいを理解し、使い分けを判断する | キーワードとそれらのつながりを読み取り、要約する | 課題につながる部分を抜き出し、出典をつける | 大事だと思うところに線を引いたり、抜き出したりする |
| ＜取捨選択＞判断の根拠、多面性 | 課題に対して、情報や意見の多様性を意識して情報を集約する | 課題解決に役立つ情報を選び、根拠を示す | 情報を選んだ理由を説明できる | 課題に役立つと思う情報を選ぶ |
| (J)比較 | 共通・相違点、視点・観点 | 課題に対して、適切な分類や比較の方法を選ぶ | 課題に対して、適切な視点・観点を考えて比べる | 共通点・相違点が何かを見いだす | 似ているものを集めて仲間分けをする |
| (K)関連づけ | 部分と全体、因果関係 | 要素間のつながりと全体を見比べて課題解決の知見を得る | 要素間のつながりから因果関係を見いだす | 要素と要素のつながりをつけて説明する | どんな要素があるのかを見つける |
| (L)論理 | 主張と根拠、意見、反論 | 想定される反論に対する反論を用意する | 根拠や意見の間にある関係をいかして自分の主張を組み立てる | 根拠から複数の意見を見つけ、自分の主張を明確にする | 根拠をもとに自分の主張を組み立てる |
| (M)表・グラフ | 表記、選択 | 伝えたい内容に応じて、適切な表やグラフの形式を選ぶ | データから適切な形式の表やグラフに表すことができる | 表やグラフを作る際、項目、見出し、単位などを適切に記入する | 指示された形式で表やグラフを作成する |
| (N)レポート | 誤字・脱字、事実と意見、構成、論理展開 | 想定される反論への反証など読者を説得できる論理や考察がある | 動機・方法・結果・考察・結論等、適切な構成で書かれている | 課題について調べたことや事実と意見を区別した文章 | 誤字・脱字がなく、主語と述語の関係、接続詞や書式が適切な文章 |
| (O)新聞 | 誤字・脱字、５W１H、客観性、レイアウト | 記事の軽重を考えて紙面をレイアウトする | 記事の見出し、写真のキャプションなどが記事内容に合っている | 5W1Hの必要な情報が含まれ、事実と意見を区別した記事 | 誤字・脱字がなく、主語と述語の関係、接続詞や書式が適切な記事 |
| (P)ポスター | レイアウト、色彩、キャッチ | デザインや言葉に印象に見る人を引き付け、印象に残る工夫がある | レイアウト、色彩や文字サイズが見やすいよう配慮されている | 伝えたい内容に関する情報が過不足無く端的に表現されている | 伝えたいことがタイトル・キャッチコピーなどに表現されている |
| (Q)プレゼンテーション | 箇条書き、構成、見やすさ、図式化 | 口頭発表との組み合わせを意識して情報が精選・図式化されている | 図、写真、表・グラフ等が適切に配置され見やすい配慮がある | タイトル、概要、目的、結果、結論など適切に構成されている | 伝えたい情報が箇条書きなどで端的に表現されている |
| (R)動画 | 取り出し、編集、構成、効果 | テロップ、ナレーション、音楽、効果などを用いて印象的にする | 伝えたい内容にあわせて映像の順番を考え、ストーリーをつくる | 伝えたい内容にあわせて必要な部分だけを選び、つなぎあわせる | ブレや逆光、ノイズなどの問題のない映像を選ぶ |
| 発信 | (S)発表 | 話し方、資料活用、双方向性 | やりとりなどで聞き手の様子を確認しながら臨機応変に話す | 伝えたい部分の強調や、身振り手振りなど工夫をして伝える | 伝えたい内容にあわせて話す速さや間の取り方を工夫して話す | 資料を示しながら、声の大きさやアイコンタクトを意識して話す |
| (T)質疑応答 | 的確さ、関連づけ、深まり | 質疑を通して課題を深められる質問をする・論点を示す／応答する | 自分の発表と比べたり、関連づけたりした質問をする／答えられる | 意図や思いをたずねる質問をする／答えられる | 数値や言葉の意味などを確かめる質問をする／答えられる |
| (U)ふりかえり | 感想、考察、成長、発展 | 自分たちの学びを総括し、達成したことや今後の課題を考察する | 他の学習者との交流を踏まえて課題について考察する | 学んだこと、できるようになったことを書く | 学んだことについて感想を書く |

情報活用からみた「学びの質」ルーブリック　2017.3.26版  
方針１：網羅性より学びの質が見えるところ　方針２：複数の観点を含んだ系統性を示す　方針３：学年は考えない